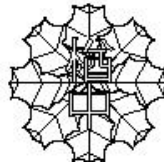


檜原中だより



令和8年9月3日

八王子市立檜原中学校

校長 深瀬 健志

<令和8年度9月号>



【教育目標】

- 深く考え自ら学ぶ生徒 (知)
- ◎思いやりのある心豊かな生徒 (徳) <自他にやさしく> (重点)
- 健康でねばり強い生徒 (体)

「経験値」を磨き高める2学期

校長 深瀬 健志

今年の夏は暑さに加え、日本各地で地震や大雨による自然災害に悩まされた地域が多数あり、例年以上に悩ましい日が続いています。そんな中でも、久しぶりに知人や親戚と会ったり、旅行をしたりと夏休みをうまく活用されたご家庭も多かったと思います。もうしばらく残暑は続きますが、季節は秋へと確実に進んでおります。保護者・地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

先日の始業式では久しぶりに子どもたちの元気な姿を見ることができました。子どもたちは、夏休みを活用し、多くの経験をする中で大きく成長しているように感じました。ここで、アメリカの研究機関の実験について紹介します。実験内容は、旅行に行った際に、Aグループ（写真をたくさん撮るグループ）とBグループ（写真をほとんど撮らないグループ）に分けて、その後の脳の様子や記憶力・表現力を確認する実験です。旅行から帰って1週間後に、旅行者から当時の様子についての話を聞き取りました。Aグループ（写真をたくさん撮るグループ）では、写真については流暢に説明できますが、全体的な風景や周りの様子に関する記憶があいまいになっている人が多いということでした。一方、Bグループ（写真をほとんど撮らないグループ）では、旅行中の出来事や風景について表現力豊かに説明できていたという実験結果です。実験結果の考察として、Aグループでは、「旅行の目的が旅行を満喫すること」から「旅行の写真を撮ること」に変化し、旅行後も友達や家族に写真を見せることが目的となり、話して伝えることがおろそかになりやすいとのことでした。旅の思い出は「写真」プラス「他人に話すこと」で素敵な経験になっていくのではないのでしょうか。

人間の判断材料とは、過去の経験から得た経験値です。経験したことをしっかり脳に蓄積すること、さらに、しっかり記憶するには他人に話すことがとても大切だと言われています。スマホに頼らず、目で見て、肌で感じたことをたくさん脳に蓄積し経験値という価値を高めていきたいですね。

不登校をテーマとした保護者サロンについて

- 1.対象 市内在住で小・中学生の保護者
- 2.日時 10月9日(金) 午後5時45分から午後8時00分
- 3.会場 八王子市立第五中学校(八王子市明神町4-19-1)
- 4.内容 ○講演「不登校に関する基礎知識と義務教育終了後に活用できる高校進学以外の資源」
○講演「第五中学校夜間学級について」
○夜間学級見学
- 5.定員 30名(先着順)
- 6.受付開始日 9月7日(月) 右の2次元コードからお申し込みください。
<https://logoform.jp/form/iapr/1709037>
- 7.問合せ 高尾山学園内 教育指導課登校支援担当 電話:663-3216



不登校の子どもたちを支援する学校等の説明会

- 1.対象 市内在住で小・中学生の保護者
- 2.日時 10月17日(土) 午前10時から正午
- 3.会場 八王子市教育センター大会議室(八王子市散田町2-37-1)
- 4.内容 「高尾山学園」や「第一中学校チャレンジクラス」「適応指導教室」「総合教育相談室」の概要説明、各施設の利用に関する相談等
- 5.定員 100名(先着順)
- 6.受付開始日 10月1日(木) 右の2次元コードからお申し込みください。
<https://logoform.jp/form/iapr/1766912>
- 7.問合せ 高尾山学園内 教育指導課登校支援担当 電話:663-3216

